

令和 7 年 8 月
新川地域介護保険・ケーブルテレビ事業組合議会
定例会会議録

令和 7 年 8 月 26 日 開会
令和 7 年 8 月 26 日 閉会

新川地域介護保険・ケーブルテレビ事業組合

令和7年第2回新川地域介護保険・ケーブルテレビ事業組合議会8月定例会会議録

午前10時 開議

議事日程

第1. 会議録署名議員の氏名

第2. 会期の決定

第3. 議案第12号 令和7年度新川地域介護保険・ケーブルテレビ事業組合
介護保険事業特別会計補正予算（第1号）

議案第13号 令和7年度新川地域介護保険・ケーブルテレビ事業組合
CATV事業特別会計補正予算（第1号）

議案第14号 専決処分の承認について（損害賠償の額の決定の件）

認定第1号 令和6年度新川地域介護保険・ケーブルテレビ事業組合
一般会計歳入歳出決算の認定について

認定第2号 令和6年度新川地域介護保険・ケーブルテレビ事業組合
介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について

認定第3号 令和6年度新川地域介護保険・ケーブルテレビ事業組合
CATV事業特別会計歳入歳出決算の認定について

（提案理由説明 理事長）

（休憩） 全員協議会開催 議案等細部説明

（再開） 質疑

第4. 一般質問

第5. 討論・表決（議案第12号から認定第3号まで）

第6. 議会運営に関する調査について（委員長報告・質疑・表決）

本日の出席議員（9人）

1 番 成川 正幸 君
3 番 松倉 孝暁 君
5 番 本田 均 君
7 番 鍵田 昭 君
9 番 由井 崇 君

2 番 辻 泰久 君
4 番 野村 康幸 君
6 番 池原 純一 君
8 番 水野 仁士 君

説明のため出席した者

理 事 長 武隈 義一 君
会計管理者 寺林 佳子 君
事務局長 福澤 祐子 君
庶務・管理係長 澤木 亮 君
給付係長 狩谷 まり子 君

副理事長 笹原 靖直 君
監査委員 八木 正則 君
総務課長兼CATV事業課長 米澤 信二 君
課長補佐・認定係長 籠瀬 亜希子 君
課長補佐・CATV係長 吉田 和宏 君

職務のため出席した者

黒部市福祉課長 越 雄一 君
入善町保険福祉課長 腰本 高輝 君
朝日町健康課付課長 村澤 実 君

黒部市企画情報課長 能登 隆浩 君
入善町財政課長 岡島 康司 君
朝日町参事総務政策課長 谷口 保則 君

○議長（本田 均君）皆様、ご苦労様です。さて、今年の夏は、連日、危険な暑さが続き、各地で観測史上最高気温を記録した地点が続出しました。全員協議会が開催された今月4日も、富山市で39.8度を記録し、県内の観測史上最高を更新したそうです。

また、連日の猛暑と今月上旬までの少雨により、水稻への被害もみられ、今年の収穫への影響を懸念しているところであります。管内でも、猛暑により成熟が早かったことに加え、2024年産米の在庫不足もあり、例年より1週間以上早く、お盆返上で、早稲品種の収穫作業を始めた農家もあります。

さて、新型コロナウイルス感染症も以前より落ち着き、マスクなしで親類や友人とお盆を過ごされた方も多いと思いますが、一医療機関あたりの平均患者数は、全国的に増加傾向にありますので、皆様も体調に十分ご留意ください。

なお、笹島副理事長におかれましては、所用により出席できない旨の連絡を受けております。それでは、本日の議事に移ります。本日、8月定例会が招集されましたところ、ただいまの出席議員は、「全員」であります。定足数に達しましたので、これより「令和7年第2回新川地域介護保険・ケーブルテレビ事業組合議会8月定例会」を開会いたします。

監査委員から例月出納検査の報告がありました。お手元に配付したとおりでありますので、説明は省略させていただきます。

それでは、本日の議事に入ります。会議規則第19条の規定により作成しました議事日程は、お手元に配付したとおりであります。

「会議録署名議員の指名」

○議長（本田 均君）日程第1、「会議録署名議員の指名」を行います。

会議録署名議員は、会議規則第89条の規定により、「3番 松倉 孝暁 議員」、「8番 水野 仁士 議員」、以上2名を指名いたします。

「会期の決定」

○議長（本田 均君）日程第2、「会期の決定」を行います。お諮りいたします。今定例会の会期は、本日8月26日の1日間とすることにご異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（本田 均君）ご異議なしと認め、会期は「1日間」と決定いたします。

「議案第12号から議案第14号及び認定第1号から認定第3号」

○議長（本田 均君）日程第3、「議案第12号」令和7年度新川地域介護保険・ケーブルテレビ事業組合介護保険事業特別会計補正予算（第1号）から「議案第14号」専決処分の承認についてまでの議案3件、及び「認定第1号」令和6年度新川地域介護保険・ケーブルテレビ事業組合一般会計歳入歳出決算の認定についてから「認定第3号」令和6年度新川地域介護保険・ケーブルテレビ

ビ事業組合CATV事業特別会計歳入歳出決算の認定についてまでの認定3件、以上6件を一括議題といたします。

それでは理事長より、提案理由の説明を求めます。「武隈理事長」

(提案理由説明)

○理事長(武隈 義一君) 本日ここに、令和7年第2回新川地域介護保険・ケーブルテレビ事業組合8月定例会を招集いたしましたところ、議員各位のご参集を賜り、本組合の重要諸案件をご審議いただきますことに対し、深く敬意を表します。

それでは、議案の説明に先立ちまして、介護保険事業及びケーブルテレビ事業の概要を申し上げます。

まず、介護保険事業についてであります。本年5月末の状況を申しますと、管内における第1号被保険者数は26,002人で、前年同期と比べ272人の減少となっております。また、第2号被保険者を含む要支援及び要介護認定者数は5,044人であり、前年同期と比べ51人の減少、認定者の発生率は19.4%となっているところであります。

一方、施設整備につきましては、第9期介護保険事業計画2年目の本年度において、地域密着型サービス事業者の公募を行ったところ、黒部市において、小規模多機能型居宅介護1施設・定員25人及び認知症対応型共同生活介護、グループホーム1施設・定員9人の申請がありました。また、朝日町においても、認知症対応型共同生活介護、グループホーム1施設・定員18人の申請があり、いずれの事業所も、現在開設に向けて準備を進めておられます。

組合としましては、管内地域住民の介護福祉向上のため、引き続きサービス事業所の着実な整備が進むよう、構成市町と共に力を注いで参りたいと考えております。

次に、ケーブルテレビ事業について申し上げます。

本年5月末のケーブルテレビ加入世帯数は22,335世帯で、加入率は79.0%であります。昨年同期と比べますと372世帯の減少で、加入率についても1.3%減少しております。加入世帯の内訳としては、エコノミーコースが15,511世帯、スタンダードパススルーコースが2,993世帯、スタンダードSTBコースが730世帯、プレミアムコースが3,037世帯、プレミアム4Kコースが64世帯となっております。

インターネット加入世帯数につきましては5月末時点で6,629世帯、加入率は23.4%であります。昨年同期と比べますと108世帯の増加となっております。また、令和4年10月から開始した電話サービスは5月末時点で1,519世帯、加入率は5.4%であります。昨年同期と比べ444世帯の増加となっております。

今後も引き続き、加入促進に努めるとともに、組合管内1市2町全域の住民の皆さんが、ご家庭で、さらには教育現場や職場等において、快適に、かつ様々な用途に活用することができる、より魅力的なケーブルテレビ事業となるよう、鋭意取り組んでまいりたいと考えております。

それでは、本日提出しております議案についてご説明申し上げます。

はじめに、議案第12号は、「令和7年度新川地域介護保険・ケーブルテレビ事業組合介護保険事業特別会計補正予算(第1号)」であります。補正額は、予算総額に歳入歳出それぞれ1億46万円を追加し、補正後の予算総額を93億4,264万1千円とするものであります。補正の内訳は、令和6年度の介護給付費及び地域支援事業費の精算に係る国・県等への返還金を計上するもので、補正

に要します財源は、繰越金をもって充当するものであります。

続きまして、議案第13号は、「令和7年度新川地域介護保険・ケーブルテレビ事業組合CATV事業特別会計補正予算（第1号）」であります。補正額は、予算総額に歳入歳出それぞれ2,983万8千円を追加し、補正後の予算総額を10億6,647万8千円とするものであります。補正の内訳は、「ケーブルテレビ施設及び設備整備等基金」への積立金を計上するもので、補正に要します財源は、繰越金をもって充当するものであります。

次に、議案第14号は、「専決処分の承認について」であります。専決処分いたしました交通事故に係る損害賠償の額の決定についてご報告させていただき、承認を賜りますようお願いするものであります。

次に、認定第1号ですが、「令和6年度新川地域介護保険・ケーブルテレビ事業組合一般会計歳入歳出決算の認定について」であります。

令和6年度一般会計の決算額は、歳入総額3億975万3,144円、歳出総額2億7,555万5,425円となり、歳入から歳出を差し引いた実質収支で3,419万7,719円の黒字決算でありました。

認定第2号は、「令和6年度新川地域介護保険・ケーブルテレビ事業組合介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について」であります。

令和6年度介護保険事業特別会計の決算額は、歳入総額89億7,233万5,908円、歳出総額87億2,591万8,344円となり、そのうち、保険給付費は79億6,938万7,678円で歳出総額の91.3%を占めております。歳入から歳出を差し引いた実質収支で、2億4,641万7,564円の黒字決算でありました。

認定第3号は、「令和6年度新川地域介護保険・ケーブルテレビ事業組合CATV事業特別会計歳入歳出決算の認定について」であります。

令和6年度CATV事業特別会計の決算額は、歳入総額12億7,699万5,047円、歳出総額12億3,715万6,746円となり、歳入から歳出を差し引いた実質収支で、3,983万8,301円の黒字決算であり、3会計合わせて、監査委員の意見を付けて認定をお願いするものであります。

以上、本日提出いたしました議案についての概要をご説明申し上げます。なお、詳細につきましては、全員協議会でご説明させていただきます。

何卒、慎重ご審議の上、適切なるご決定を賜りますようお願い申し上げます。提案理由といたします。

○議長（本田 均君） 次に、「認定第1号」から「認定第3号」までについて、監査委員の審査結果を求めます。「八木 代表監査委員」

○監査委員（八木 正則君） 去る6月30日、令和6年度一般会計、介護保険事業特別会計及びCATV事業特別会計歳入歳出決算の審査を池原監査委員とともに行いましたので、その所見を報告いたします。

決算審査に当たっては、予算執行が適正に行われたか、関係諸帳簿が整備され、かつ正確に処理されているかを主眼に審査をいたしました。審査の結果につきましては、決算審査意見書に記載いたしました。その概要について説明させていただきます。

まず、一般会計の決算状況ですが、歳入総額が、3億975万3,144円歳出総額が、2億7,555万5,425円であり、歳入歳出差引額は、3,419万7,719円で、実質収支は黒字となり、そのまま翌年

度へ繰越しております。

歳入の概要を申し上げますと、構成市町からの組合分担金が歳入全体の 76.7%を占めており、決算額は約 2 億 3,754 万円となり、前年度に比べ約 3,567 万円の増加となっております。

一方、歳出の概要については、全体の 82.3%を占める総務費は、一般管理費、電算管理費、介護認定審査会費、訪問調査費及び給付事務費等であり、その決算額は約 2 億 2,676 万円となり、前年度に比べ約 3,767 万円の増加となっております。

次に、介護保険事業特別会計の決算状況ですが、歳入総額が、89 億 7,233 万 5,908 円、歳出総額が、87 億 2,591 万 8,344 円であり、歳入歳出差引額は、2 億 4,641 万 7,564 円で、実質収支は黒字となり、そのまま翌年度へ繰越しております。

歳入の概要を申し上げますと、介護保険料は、約 18 億 5,187 万円となり前年度よりも、約 3,420 万円増加しております。また、前年度に引き続き、消費税率の引き上げに伴い実施している第 1 から第 3 段階の介護保険料の軽減が行われていることから、公費負担により約 4,854 万円が繰入されております。

併せて、介護保険料軽減のため、介護給付費準備基金より、1 億円が繰入されております。

保険料の収納率は、全体で前年度と比べ 0.04 ポイント増加の 99.50%となり、依然として高い水準を維持していると思われます。

今後も「みんなで支え合う」介護保険の理念に基づき、本制度の主旨を被保険者に理解していただき、収納率の維持向上に努めていただきたいと思います。

続いて、歳出の概要を申し上げますと、保険給付費の決算額は、約 79 億 6,939 万円で、予算執行率は 94.9%、歳出総額に占める割合は、91.3%であり、前年度支出額と比べ約 1 億 1,179 万円、率では 1.4 ポイントの増加となっております。

保険給付費の主な内訳は、居宅サービスが約 46 億 954 万円、前年度に比べ、約 7,997 万円、率では 1.8 ポイントの増加となっております。

また、施設サービスは、約 30 億 4,819 万円、前年度に比べ、約 3,360 万円、率では 1.1 ポイントの増加となっております。

地域支援事業費の決算額は、約 4 億 3,194 万円、前年度に比べ約 630 万円の増加となっており、令和元年度より実施しております、構成市町への委託事業である保健福祉事業は約 622 万円、前年度に比べ約 382 万円の減少となっております。

その他の歳出では、前年度の保険給付費、地域支援事業に係る精算金返還金等の諸支出金が約 1 億 5,830 万円となっております。

また、介護給付費準備基金へ、令和 3 年度から令和 5 年度の剰余金及び預金利子、約 1 億 6,007 万円を積み立てております。

次に、CATV事業特別会計の決算状況であります。歳入総額が、12 億 7,699 万 5,047 円、歳出総額が、12 億 3,715 万 6,746 円であり、歳入歳出差引額は、3,983 万 8,301 円で、実質収支は黒字となり、そのまま翌年度へ繰越しております。

歳入の概要を申し上げますと、事業収入の柱となるCATV使用料は、約 4 億 1,260 万円となり前年度よりも約 376 万円の減少となっております。

CATV使用料の収納率は、前年度と比べ 0.20 ポイント増加の 98.76%で高い水準だと思われますが、480 万円を超える収入未済額が残っており、今後も引き続き、滞納に至る生活実態をしっ

かりと見極め、その把握に努め、収入未済額が増加しないよう取り組んでいただきたいと思います。
なお、F T T H化整備にかかる財源の内訳につきましては、構成市町からの分担金、組合債、繰入金となっております。

続いて、歳出の概要を申し上げますと、C A T V費の決算額は、歳出総額と同額のため、歳出総額に占める割合 100%、予算執行率は 96.0%となっており、前年度支出額と比べますと、約 8,411 万円の減少となっております。

C A T V費の主な内訳は、指定管理料・業務委託などの委託料が約 5 億 5,787 万円、前年度に比べ約 7,904 万円の減少、修繕料などの需用費が約 6,722 万円、前年度に比べ約 2,105 万円の減少となっており、一方、機器リース料などの使用料及び賃借料が約 6,247 万円、前年度に比べ約 1,435 万円の増加となっております。

ケーブルテレビ施設及び設備整備等基金積立金は、普通預金利息 95,089 円を積み立てし、8,876 万 7,000 円を取り崩しております。

審査の詳細につきましては、審査意見書に記載したとおりであり、予算執行は、関係書類も整備され、適正に処理されているものと認められました。

最後に、それぞれの事業に対し、望むことを申し上げ、終わりたいと思います。

まず、介護保険事業ですが、サービス給付費全体を見ると、前年度比で 1.4%の微増となっている一方で、施設整備や一部サービスが計画どおり進まなかったことなどにより、計画値を下回っています。

その要因の一つには、人手不足による介護職員確保の問題が考えられることから、その解消に向けて、今後も引き続き、介護職員の処遇改善などを国県等に、積極的に働きかけ続けていただくことを願うものであります。

令和 6 年度より、今後の少子高齢化を見据え、中長期的な視点により策定された第 9 期介護保険事業計画がスタートし、1 年が経過しました。計画の基本である「介護予防の推進と地域包括ケアの深化・推進」、より一層の「介護保険サービスの充実と給付の適正化」について、しっかりと取り組んでもらうとともに、これまで以上に創意と工夫を重ね、構成市町と十分に連携協力しながら、引き続き、地域住民の福祉向上に努められることを望みます。

次に、C A T V事業についてであります。

令和 7 年 3 月をもって、旧来の H F C 方式によるサービスを終了し、令和 4 年度から開始した F T T H 方式への移行が完了したことは、放送通信の安定的な提供と地域情報基盤の高度化を図る上で、意義深いものと評価されます。

F T T H 方式への移行により、従来のサービスに比べ通信速度の高速化と将来の拡張性が大幅に向上し、住民サービスの質の向上、業務効率化、そして、デジタルデバイドの是正に資するインフラ整備が実現されたものと考えます。

一方、ケーブルテレビ全体の契約者数は、前年度比 2.1%の減少となっております。人口減少の時代に入り、今後も加入者数の維持が困難になることが想定されますが、新しいサービスの導入などによりケーブルテレビ全体の魅力を高め、新規加入の促進と収益の増加につながる取組に努められ、さらには介護保険事業も含めた有益な行政サービスを展開することで、より一層、住民の利便性向上につながるサービスが、継続的に提供されていくことを望みます。

以上、簡単ではございますが決算審査の報告とさせていただきます。

○議長（本田 均君）ここで、議案の細部説明を聞くため、暫時休憩いたします。

午前 10 時 26 分 休憩

午前 10 時 33 分 再開

「再開」

○議長（本田 均君）休憩前に引き続き会議を開きます。日程第 3 の議事を継続し、これより質疑を行います。質疑はございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（本田 均君）質疑なしと認めます。これをもって質疑を終結いたします。

○議長（本田 均君）次に、日程第 4、「一般質問」ですが、今回、通告者は、ございませんでしたので、一般質問を終了します。

討論・表決「議案第 12 号から議案第 14 号及び認定第 1 号から認定第 3 号」

○議長（本田 均君）日程第 5、「議案第 12 号」令和 7 年度新川地域介護保険・ケーブルテレビ事業組合介護保険事業特別会計補正予算（第 1 号）から「議案第 14 号」専決処分の承認についてまでの議案 3 件、及び「認定第 1 号」令和 6 年度新川地域介護保険・ケーブルテレビ事業組合一般会計歳入歳出決算の認定についてから「認定第 3 号」令和 6 年度新川地域介護保険・ケーブルテレビ事業組合 C A T V 事業特別会計歳入歳出決算の認定についてまでの 3 件、以上 6 件を一括議題といたします。はじめに討論を行います。討論はございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（本田 均君）討論なしと認めます。これをもって討論を終結します。これより採決を行います。議題のうち、「議案第 12 号」令和 7 年度新川地域介護保険・ケーブルテレビ事業組合介護保険事業特別会計補正予算（第 1 号）について、「起立により」採決いたします。本件について、原案のとおり決することに賛成の皆さんの起立を求めます。

（起立全員）

○議長（本田 均君）起立全員であります。よって、本件は原案のとおり可決されました。

次に、「議案第 13 号」令和 7 年度新川地域介護保険・ケーブルテレビ事業組合 C A T V 事業特別会計補正予算（第 1 号）について、「起立により」採決いたします。本件について、原案のとおり決することに賛成の皆さんの起立を求めます。

(起立全員)

○議長(本田 均君) 起立全員であります。よって、本件は原案のとおり可決されました。

次に、「議案第14号」専決処分の承認について、「起立により」採決いたします。本件について、原案のとおり決することに賛成の皆さんの起立を求めます。

(起立全員)

○議長(本田 均君) 起立全員であります。よって、本件は原案のとおり可決されました。

次に、「認定第1号」令和6年度新川地域介護保険・ケーブルテレビ事業組合一般会計歳入歳出決算の認定について、「起立により」採決いたします。本件について、認定することに賛成の皆さんの起立を求めます。

(起立全員)

○議長(本田 均君) 起立全員であります。よって、本件は認定することに決しました。

次に、「認定第2号」令和6年度新川地域介護保険・ケーブルテレビ事業組合介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について、「起立により」採決いたします。本件について、認定することに賛成の皆さんの起立を求めます。

(起立全員)

○議長(本田 均君) 起立全員であります。よって、本件は認定することに決しました。

次に、「認定第3号」令和6年度新川地域介護保険・ケーブルテレビ事業組合CATV事業特別会計歳入歳出決算の認定について、「起立により」採決いたします。本件について、認定することに賛成の皆さんの起立を求めます。

(起立全員)

○議長(本田 均君) 起立全員であります。よって、本件は認定することに決しました。

「議会運営に関する調査について」

○議長(本田 均君) 日程第6、「議会運営に関する調査について」を、議題といたします。

本件を付託した議会運営委員会の調査の結果について、委員長から報告を求めます。

「議会運営委員長 成川 正幸議員」

○1番(成川 正幸君) 本委員会に付託され、議会閉会中の継続審査に付されております「議会運営に関する調査について」その結果をご報告申し上げます。

本委員会は、去る8月4日に開催し、8月定例会の会期、議事日程及び議会運営に関する事項に

ついて協議をいたしました。

次に、同じく8月定例会の理事長提出議案3件及び令和6年度各会計決算の認定について3件の説明を受けた後、その取り扱いについて協議をいたしました。また、本委員会では、議会運営の効率化について、引き続き調査する必要があると認め、議会閉会中も継続して調査すべきものと決定いたしました。

以上であります。

○議長（本田 均君）ただ今の委員長報告に対する質疑を行います。質疑はございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（本田 均君）質疑なしと認めます。お諮りいたします。本件に対する委員長の報告は、「議会閉会中の継続審査」であります。委員長の報告のとおり決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（本田 均君）ご異議なしと認め、本件は、「議会閉会中の継続審査」とすることに決しました。

以上で、本定例会に付議された案件は、全て終了いたしました。

これをもって、令和7年第2回新川地域介護保険・ケーブルテレビ事業組合議会8月定例会を閉会いたします。最後に、武隈理事長からご挨拶があります。

○理事長（武隈 義一君）8月定例会の閉会にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

当局から提案いたしました議案につきまして、慎重ご審議を賜り、滞りなく議了され、ご承認いただきまして、心から感謝申し上げます。

審議の過程におきまして賜りましたご意見等につきましては、心して事業執行に当たってまいりたいと考えております。

介護保険事業・ケーブルテレビ事業ともに、どちらも、管内住民の皆様にとって密接な事業でありますので、今後においても安心して快適な生活の実現につながるよう、最善を尽くしてまいり所存であります。

議員各位におかれましては、引き続き格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。閉会のご挨拶とさせていただきます。

本日はありがとうございました。

○議長（本田 均君）皆様、長時間にわたり、大変お疲れ様でした。

午前10時41分 閉会

以上の会議の次第を記録し、相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和7年8月26日

新川地域介護保険・ケーブルテレビ事業組合議会議長

署名議員

署名議員